

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

| | | | |
|-------------------|--|--------|------|
| ① 施策名〔施策小〕 | 1 人権啓発・人権教育の推進 | ② 施策番号 | 7601 |
| ③ まちづくりの方向〔政策(章)〕 | 1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち | | |
| ④ 基本施策〔施策大(節)〕 | 1 市民すべてが平和を希求するとともに、互いの存在を尊重し信頼しあい、いかなる差別もなく、一人ひとりが大切にされる人権文化のまちをめざします | | |
| ⑤ 基本的方向〔施策中〕 | 1 基本的人権の尊重 | | |
| ⑥ 担当部名 | ⑦ 担当課名 | | |
| 教育部 | 生涯学習課 | | |

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

| | |
|--|--|
| ① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか) | 市民 |
| ② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか) | 市民一人ひとりが人権尊重の立場で、行政とともに、人権問題に前向きに取組み、早期解決をめざし、人権意識の向上を図る。 |
| ③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか) | 平成28年度に「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」「女性活躍推進法」が施行されており、このような背景には、それらの法整備を要する事象がまだ存在する為であると考え。市としてはそれらを踏まえた施策を実施する必要がある。 |

[2] 施策指標及び推移

| 施策指標(成果指標) | 単位 | 指標とした理由・考え方 |
|-----------------------|----|---------------------------------|
| ① 講座受講者数 計算式: 受講者数 | 人 | 多くの市民に受講してもらうことで人権意識を高めることができる。 |
| ② 識字生徒数 計算式: 生徒数 | 人 | 多くの非識字者に参加してもらい非識字者の減少につなげる。 |
| ③ 計算式: | | |

| 指標名 | 単位 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1見込 | R2目標 | 備考 | |
|----------|----|-------|-------|--------|-------|------|-----|--|
| ① 講座受講者数 | 人 | 目標値 | 260 | 210 | 210 | 220 | 200 | |
| | | 実績値 | 142 | 197 | 181 | — | — | |
| | | 達成率 | 54.6% | 93.8% | 86.2% | | | |
| ② 識字生徒数 | 人 | 目標値 | 35 | 30 | 29 | 20 | 31 | |
| | | 実績値 | 30 | 31 | 23 | — | — | |
| | | 達成率 | 85.7% | 103.3% | 79.3% | | | |
| ③ | | 目標値 | | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | | |
| | | 達成率 | | | | | | |

[3] 施策を構成する事務事業

| | 事務事業名 | 成果指標 | | | | 総事業費(千円) | | | 事務事業評価結果 | | 重点化 | | |
|---|--------|--------|----|-------|-------|----------|-------|-------|----------|------|-----|--------|--|
| | | 指標名 | 単位 | H29実績 | H30実績 | R1見込 | H28実績 | H29実績 | H30見込 | 総合評価 | | 今後の方向性 | |
| 1 | 人権教育事業 | 講座受講者数 | 人 | 197 | 181 | 220 | 4,914 | 3,304 | 3,601 | B | イ | b | |
| 2 | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 1 | | | | | | 4,914 | 3,304 | 3,601 | | | | |

3. 施策の評価

| 評価の視点 | 説明・コメント等 |
|--|---|
| ①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。) | 人権問題についてわかりやすい講座を開催することで人権意識の向上が図られる。 |
| ②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。) | 講座受講者数はPRの強化、講座内容の検討により前年より増加した。 |
| ③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。) | 講座に関しては広く市民の参加が可能であるが、中でも様々な活動に携わっていただく、団体等の所属者の方には人権意識を持っていただき、一般の市民の方に広めていただくことが重要であると考えことから、特に積極的にPRし参加を呼び掛けている。 |
| ④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。) | 施策目標に対するずれはない。数については、1施策1事業ではあるが、全庁的に人権関連部署と連携して施策を推進しており適正である。 |
| ⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。) | — |

4. 一次評価(所管課評価)

| | 評価(A~D) | 課題等 | A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある |
|------|---------|---|---|
| 一次評価 | B | 講座に関しては人権政策推進本部市民啓発部会や人権関連部署との連携を図り内容を充実させ、PRにも一層力を入れ参加者を増やしていく。識字教室に関しては、目的を維持しつつ、今後の運営方法などについて検討していく。 | |

5. 改革、改善案

| | |
|------------------------------|---|
| 即時的対応 (すぐに取り組む改善案) | 講座内容やPR方法について、人権関連部署との一層の連携を図る。 |
| 短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案) | 講座内容やPR方法について、人権関連部署及び人権政策推進本部市民啓発部会での全庁的な連携の中で効果的な啓発内容を検討する。 |
| 中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案) | 上記同様。 |

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

| | 評価(A~D) | 課題等 | A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある |
|------|---------|--|---|
| 二次評価 | B | 識字教室、講座の開催により施策達成に向けた取組が、適切に行われている。 今後の運営方法については、人権関連部署との連携を進めるなど、より効果的な取組や展開について検討を進められたい。 | |